

# News Release

## 石油ストーブ・石油ファンヒーターの事故、5年間で57人死亡 ～給油時は、細心の注意を払いましょう～ -近畿2府4県における事故の防止-

### 1. 暖房器具の事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、暖房器具<sup>※2</sup>の事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2014年度から2018年度までの5年間に合計235件ありました。

#### (1) 年度別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生状況<sup>※3</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生件数	2014年度	2 [2]	9 [5]	18 [10]	20 [13]	8 [8]	2 [1]	59 [39]
	2015年度	3 [2]	8 [5]	13 [9]	7 [5]	6 [2]		37 [23]
	2016年度	2 [2]	4 [2]	24 [16]	20 [13]	4 [4]	2 [2]	56 [39]
	2017年度	2 [2]	6 [4]	16 [13]	12 [9]	3 [3]	2 [2]	41 [33]
	2018年度	4 [4]	11 [8]	12 [3]	10 [8]	3 [1]	2 [2]	42 [26]
合計	事故件数	13	38	83	69	24	8	235
	火災件数	[12]	[24]	[51]	[48]	[18]	[7]	[160]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 対象とする製品はプレスリリース本文P.2を参照。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[ ]は火災件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況<sup>※4</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人 的 被 害	死 亡	1	2	8	6	3		20
		(1)	(2)	(13)	(6)	(3)		(25)
		[1]	[2]	[7]	[6]	[3]		[19]
重 傷				4	5	1		10
	(0)	(0)	(4)	(7)	(1)	(0)		(12)
				[2]				[2]
物 的 被 害	軽 傷	3	3	10	4	2		22
		(4)	(6)	(15)	(5)	(3)	(0)	(33)
		[3]	[3]	[5]	[3]	[2]		[16]
拡 大 被 害		9	21	40	40	14	5	129
								(0)
		[8]	[15]	[29]	[32]	[12]	[5]	[101]
製 品 破 損			12	20	14	4	3	53
								(0)
			[4]	[8]	[7]	[1]	[2]	[22]
被害なし				1				1
								(0)
								[0]
合計	事故件数	13	38	83	69	24	8	235
	被害者数	(5)	(8)	(32)	(18)	(7)	(0)	(70)
	火災件数	[12]	[24]	[51]	[48]	[18]	[7]	[160]

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

(3) 製品分類別 府県別 事故発生状況

表3に「製品分類別 府県別 事故発生状況」を示します。

表3 製品分類別 府県別 事故発生状況<sup>※5</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
石油ストーブ・ 石油ファンヒーター		6	12	14	10	8	3	53
		[6]	[11]	[12]	[10]	[8]	[3]	[50]
電気ストーブ・ 電気ファンヒーター		5	15	36	33	9	5	103
		[5]	[9]	[25]	[25]	[5]	[4]	[73]
ガスストーブ・ ガスファン			3	7	3	2		15
			[1]	[4]	[2]	[2]		[9]
その他暖房器具		2	8	26	23	5		64
		[1]	[3]	[10]	[11]	[3]		[28]
合計	事故件数	13	38	83	69	24	8	235
	火災件数	[12]	[24]	[51]	[48]	[18]	[7]	[160]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[ ]は火災件数。

## 2. 石油ストーブ・石油ファンヒーターの事故発生状況

石油ストーブ・石油ファンヒーターの事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2014年度から2018年度までの5年間に合計53件ありました。

### (1) 年度別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生状況<sup>※6</sup>（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生 件数	2014年度	2 [2]	3 [3]	2 [2]	2 [2]	2 [2]		11 [11]
	2015年度	1 [1]	1	3 [3]	2 [2]	2 [2]		9 [8]
	2016年度	1 [1]	2 [2]	7 [5]	2 [2]	3 [3]		15 [13]
	2017年度	1 [1]	2 [2]	1 [1]	3 [3]	1 [1]	1 [1]	9 [9]
	2018年度	1 [1]	4 [4]	1 [1]	1 [1]		2 [2]	9 [9]
合計	事故件数	6	12	14	10	8	3	53
	火災件数	[6]	[11]	[12]	[10]	[8]	[3]	[50]

(※6) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[ ]は火災件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況<sup>※7</sup> (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人 的 被 害	死 亡		1	2	4	2		9
			(1)	(3)	(4)	(2)		(10)
			[1]	[1]	[4]	[2]		[8]
人 的 被 害	重 傷				(2)			0
								(2)
								[0]
人 的 被 害	軽 傷	2	3	1		1		7
		(3)	(6)	(1)	(1)	(2)		(13)
		[2]	[3]	[1]		[1]		[7]
物 的 被 害	拡 大 被 害	4	4	9	3	4	2	26
		(4)	(4)	(9)	(3)	(4)	(2)	(26)
物 的 被 害	製 品 破 損		4	2	3	1	1	11
			(3)	(1)	(3)	(1)	(1)	(9)
								[0]
被害なし								0
								(0)
								[0]
合計	事故件数	6	12	14	10	8	3	53
	被害者数	(7)	(14)	(14)	(13)	(9)	(3)	(60)
	火災件数	[2]	[4]	[2]	[4]	[3]	[0]	[15]

(※7) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

### 3. 事故事例の概要

#### (1) 可燃物が接触

2019年1月（京都府、80歳以上・男性、死亡）

##### 【事故の内容】

石油ストーブ付近から出火して、集合住宅の1室を全焼、隣接する住宅を類焼し、1人が死亡した。

##### 【事故の原因】

近接して干されていたタオル等が落下して加熱され、出火したと考えられる。

#### (2) 一酸化炭素中毒で死亡

2017年1月（大阪府、70歳代・男性、死亡）

##### 【事故の内容】

一酸化炭素中毒で2名が死亡し、現場に石油ストーブがあった。

##### 【事故の原因】

石油ストーブは、燃焼筒の拡炎板の爪が破損し、上下逆さまの状態では燃焼筒の上部に置かれていたため燃焼時に不完全燃焼となり、高濃度の一酸化炭素が発生して事故に至ったものと考えられる。

### 4. 暖房器具の事故の映像について

暖房器具の事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

#### （本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者：リスク評価広報課 小寺

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617